

## 市民百景

第  
12  
回



### 当たり前のように笑い 集まれる居場所づくりを目指して

会社経営 押切 伸哉 さん (49)

昨年、11月29日にイオンタウン釜石に「カラオケ CLUB DAM」をオープンしたのは市内で飲食店などを経営する押切伸哉さん。「異業種の経営者の先輩が、高校生から『カラオケも無くなって釜石は終わってる』と言われ、高校生のためにカラオケ店をやろうとしたが、断念したという話を昨年の10月頃に聞きました。私自身も長く育ってきたこの町をこのまま廃れさせるわけにはいかないと先輩の思いを引き継ぎ、急ピッチで開店準備をしました」とオープンするまでの経緯を話します。

カラオケが無くなってから市内の異変も感じ取っていたという押切さん。「昨年のお盆の夜、若者が青葉通りに集まっているのを見て、この子達は、集まる居場所が無くなってしまったんだと思いました。同時に釜石出身の子どもたちが、このままでは帰ってきてくれないというのはという想いもありました」と振り返ります。

そうした想いを踏まえ、押切さんが目指すお店の形を尋ねると「自分たちが若い時は当たり前前のようにあったカラオケ屋が無くなり、初めて居場所としての大切さに私自身も気づきました。子どもたちをはじめ多くの人が当たり前のように笑い、集まれる居場所をこれからも守っていけるよう、頑張っていきたいです」と笑顔で今後の決意を語りました。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室 ☎ 27-8463 または市のホームページからご連絡ください



岩澤 こはる ちゃん  
(2歳)  
いつもステキな笑顔で、  
周りを明るくしてね！



はる ひ  
菊池 遥陽 ちゃん  
(1歳)  
優しい元気な子になってね！



小笠原 伊織 くん  
(2歳)  
これからも元気いっぱい  
育っていったね！



釜石市LINE公式アカウント

